知財システムゆめ工房　アイ・ピー・ファイン株式会社

わたしたちは、お客様とともに
日本の発明・開発力を甦らせるための
情報革新・知財DX化に取り組んでいます。

R&D知財グループウェア「THE調査力AI」の開発・運営
R&D知財AIシステム「Deskbee5」の開発・運営
「R&D情報ステーションIIC」の開発・運営（2024年 春～）
中国特許検索サイト「専利SEARCH-i2」の運営

新興国・中国等の特許調査
知財関連コンサルティング

知財DX

知財関連システムの企画提案・開発・運用サポート
知財関連データ処理業務

セキュリティへの取組み

認証資格
情報マネジメントシステム（ISO/IEC27001、ISO/IEC27017）を取得し管理・運用を行っています。
ISO/IEC 27001：2013 マネジメントシステム登録（登録証番号 JQA-IM1449）
ISO/IEC 27017：2015 マネジメントシステム登録（登録証番号 JQA-IC0106）／クラウドサービス

JQA-IM1449　JQA-IC0106

ノイズだらけの特許調査と決別し、沈みゆく日本の開発力を甦らせる

低迷する研究開発を救え—。

革新的なシステムを開発した著者が説く知財DXの目的と重要性

現在、現場の第一線を走り続ける研究者・技術者は無駄だらけの膨大な量の特許調査に忙殺されており、AIやシステムの活用などでDXを推進して特許調査を効率化しなければならないと考えているのです。

ご購入はこちら

ベストセラーランキング 第1位 RANKING
紀伊國屋書店横浜店 和書（2023年4月23日～30日調べ）
古川 智昭 著／幻冬舎／四六判 196ページ／¥1,760（税込）

お問い合わせ、お申込みはお気軽に。

アイ・ピー・ファイン株式会社
〒630-8115 奈良県奈良市大宮町6-3-4
Tel：0742-36-7791／Fax：0742-36-7792
Web：https://ipfine.jp

代理店

ChatGPTを知財DXに活用

R&D知財グループウェア

THE調査力AI

R&D知財の働き方改革がここにある。
挑戦する研究開発のための知財DX

アイ・ピー・ファイン株式会社

どんどん進化中！

R＆D知財グループウェア

THE調査力AI

Topic1
第4世代AIに進化
AI最先端を邁進中

Topic2
PCT日本移行監視でJP自動生成
要監視WOに最新機能

Topic3
Japio-GPG/FX 全文日本語ダイレクト表示
画期的な海外特許調査

Topic4
拡張版 論文・市場データ
IPランドスケープDB

新鮮な目線で仕事のしかたを考えました。
私たちは、考えつづけます。それを実現できるのは
私たちだけ。ご要望受付中！

THE調査力AIの特長	お役立ち業務								
	SDI調査・管理	先行技術調査	開発動向調査	関連特許監視管理	出願戦略	無効資料調査	ASEAN特許調査	論文・市場データ等	
1 採用企業が増加中「SDI_DX」で短時間化と見える化を実現	◎	―	―	○	―	―	―	―	P.4
2 第4世代AIに進化～当社オリジナルのAI、4つの使い方	◎	◎	○	―	―	◎	―	○	P.5
3 知財業務の核心 ”評価”にとことんこだわったインターフェース	◎	◎	◎	○	○	○	○	―	P.6
4 特許出願、IPランドスケープの「戦略DB」としての活用	―	○	◎	―	◎	―	―	◎	P.7
5 監視機能に「WO日本移行監視」と「再公表JP自動作成」を搭載	○	―	―	◎	―	―	―	―	P.8
6 海外特許調査も日本語、Japio-GPG/FX和文データ連係	◎	◎	◎	―	―	◎	○	―	P.9
7 階層分類とシン・ハイライトソートを併用した「一括分類付与」	○	○	◎	○	◎	―	○	○	P.10

研究開発部門の「時短」と「創造」のために！

グループウェア「THE調査力AI」

研究開発部門と知財部門が共有

・最新情報の閲覧
・評価グループワーク

特許情報検索
・Japio-GPG/FX
・CyberPatent Desk
・HYPAT-i2
・その他検索DB

Excelなどの簡易ソフト
・IPランドスケープ関連資料の作成
・一過性データ、分析マップの作成

自社特許管理
・出願管理システム
・包袋管理システム
・年金、報償管理
・経費管理システム

＼はやどり！／

話題の新機能

いろいろ見える化！

ChatGPT要旨・キーワード

＼企業メリット 当社サーバからのアクセスだから、利用企業が特定されない！／

特許調査の効率化にはAI利用と共に最良の表示インターフェーとポイントを早期に判断できる情報が必要です。
ChatGPTが作成した「要旨とキーワード」を全図面スクロール抄録でご利用いただけます。

本発明は、ネルソンソーヴィン種ホップの特徴的な香気が強調されたビールテイスト飲料の提供とその製造方法に関するものである。ビールテイスト飲料には、ホップ成分Aが0.5%以上含まれ、β-ユーデスモール/ホップ成分Aの比が60以下であり、ホップ成分Aがガスクロマトグラフ質量分析法により測定した場合に、内部標準物質ボルネオールのリテンションタイムに対し16～18分後の出現時間差を有するピークに対応する成分であることが必要である。

ネルソンソーヴィン種ホップ,香気,ビールテイスト飲料,β－ユーデスモール,ホップ成分A,ガスクロマトグラフ質量分析法,内部標準物質ボルネオール,リテンションタイム,ピーク,レスポンス,96m／z,113m／z,95m／z

[出願番号] 特願2016-054414の作成例

いろいろ見える化！

BERT 自然文AI判定

特許調査したい内容を1～2フレーズ入力すると、予め処理した評価済特許で指定範囲の特許を対象にサーチ判定とノイズ判定ができます。ご希望に合わせて教師を特定した当社のDeskbee・AI判定機能と使い分けができます。

ビールテイスト飲料で、ホップのフローラル香についての特許、かつホップの泡生成、苦味などは除く、かつ、ホップ以外の香味のみの添加を除く。

サーチ判定（類似度の上位） 35 %
※サーチ判定以外はノイズ判定となります

判定特許：1023件
評価済みデータを基に判定します

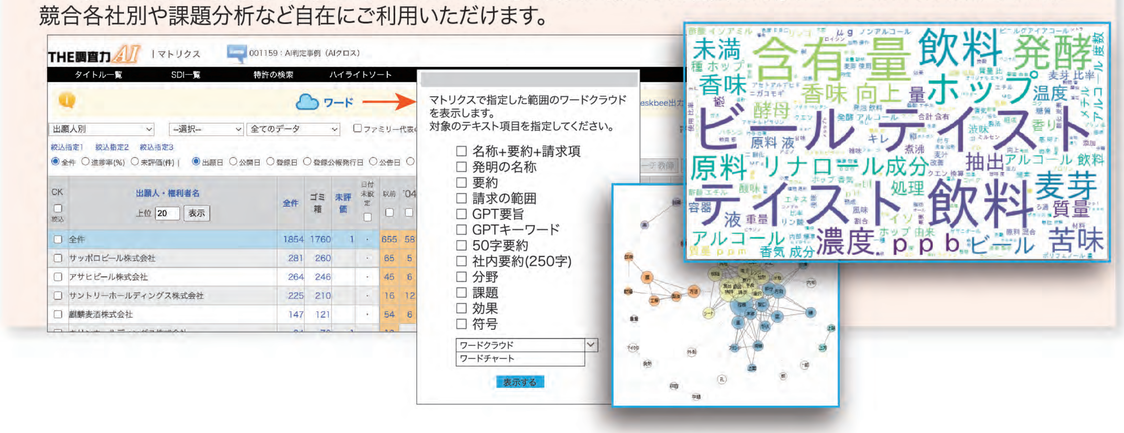
入力のポイント：
調査したい目的, 課題, 技術的内容をできるだけシンプルに作成します。
除外したいノイズの特徴が含まれても構いません。
関連／ノイズ両方に含まれるワードは含まないことがお勧めです。

実行

いろいろ見える化！

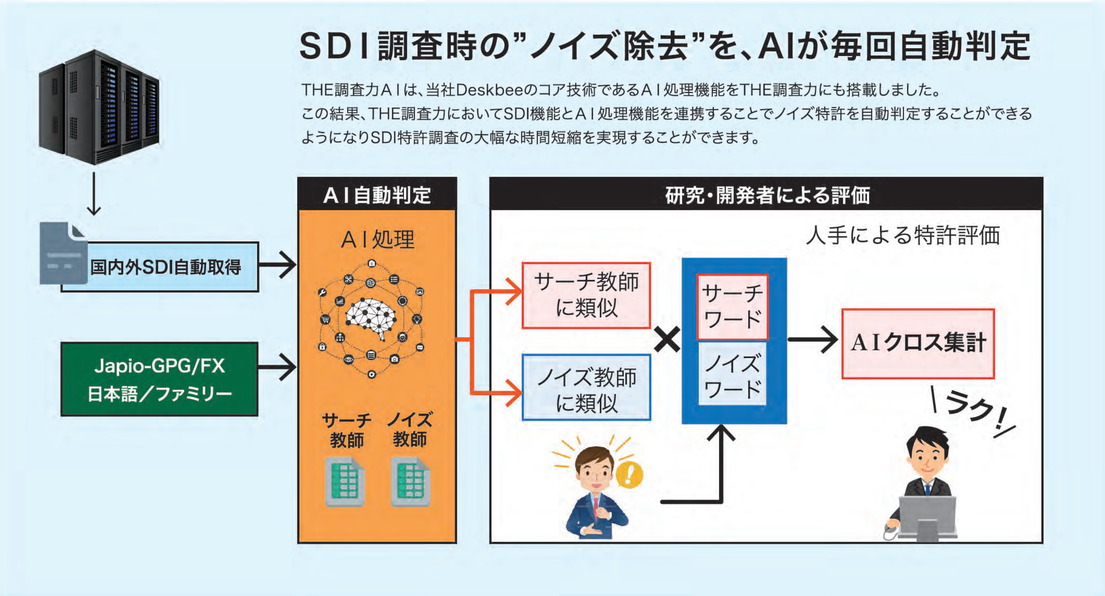
ワードクラウド

THE調査力AIの主要機能「評価連動マトリクス表示」で自由に指定した範囲を対象にワードクラウド表示します。
競合各社別や課題分析など自在にご利用いただけます。



1 採用企業が増加中「SDI_DX」で短時間化と見える化を実現

SDI新着特許を「AI」でノイズ判定後、グループウェアで閲覧・評価・管理するDX時代の「ＳＤＩ」が登場しています。
調査の時短を実現し、日々更新される関連他社特許の状況がリアルタイムに可視化されるムダのない仕組みです。
・・・SDI評価結果を年度別や直近20カ月別に“鳥の目・魚の目・虫の目”表示を備えたSDIインターフェース



社内で運用中のＳＤＩテーマを一堂に管理できます。これにより知的財産部のテーマの支援や、対策が必要な他社特許がテーマ別に集中管理できるようになります。

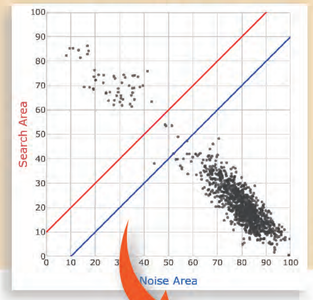
評価連動マトリクス表示により、日々更新されるＳＤＩ調査データを最大限に有効活用することができます。全体の動向・傾向を鳥瞰する「鳥の目」、ライバル会社を時系列に分析する「魚の目」、指定した範囲の特許を閲覧する「虫の目」の３つの目で即座に目的に合った活用をすることができます。

2 第4世代ＡＩに進化～当社オリジナルのＡＩ、４つの使い方

技術が進歩する限りどのような「AI」でも100%の正解は望めません。そこで「人知」による重要ワード／ノイズワードの濃淡を演算するシン・ハイライトソート判定を併用する新技術、それが「ＡＩクロス集計」です。
更に、調査済特許の評価結果をＡＩで再チェックできる「誤評価自動検証ＡＩ」は、当社のみのオリジナル提案です。

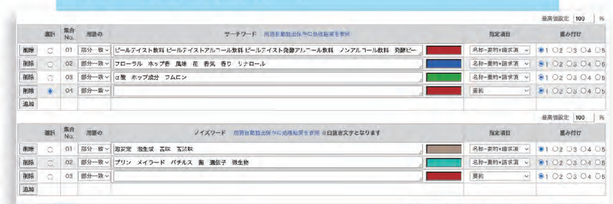
第４世代ＡＩ── ＡＩ × 人間の融合

❶ 関連特許とノイズ特許をAI判別する、当社独自のスクリーニング・ＡＩナビゲータ



特許6453502号
特許7051105号

❷ 評価者が指定した関連ワードとノイズワードで関連度の濃淡を判別する、オリジナル技術のシン・ハイライトソート



特許5703399号

❸ 「ＡＩ判定」と「指定ワード判別」をマトリクス表示する第4世代のＡＩ技術で先行する「ＡＩクロス集計」

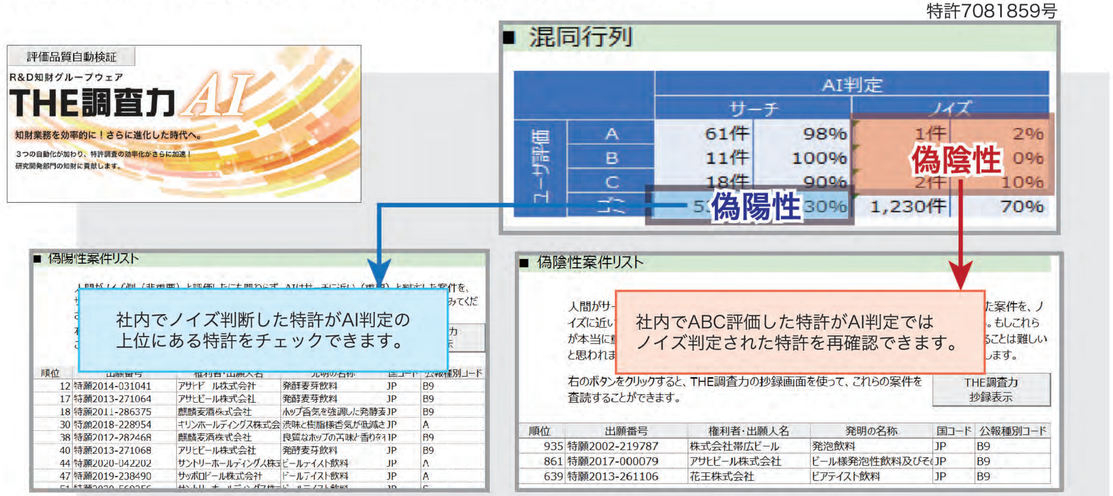
		シン・ハイライトソート判定								
		100%				0%				100%
ＡＩ判定（件）	サーチ判定	優先1 25	32	優先3 48	34	時短1 145	23	36	17	45
	ノイズ判定	優先2 2	1	優先4 14	26	時短2 428	116	45	115	154

特許7154645号

重要ワード群 ← → ノイズワード群

❹ SDIや大量の特許調査などでは、評価は一発勝負です。しかし二重チェックができれば望ましいはず。ＡＩで評価の再チェックができる国内唯一の誤評価自動検証ＡＩです。

特許7081859号



3 知財業務の核心”評価”にとことんこだわったインターフェース

特許の評価付けやコメントが簡単、日々更新されていく関連特許の管理・分析がし易い。他社特許も自社出願も「評価」に基づいて業務が行われます。THE調査力ＡＩは、この「評価」を中心にしたグループウェアです。
THE調査力ＡＩに組み込まれた４種類のＡＩ機能も「評価」の効率化と誤評価リスクの低減を目的としています。

評価するだけではもったいない。
評価結果の活用を目的とした評価連動マトリクスで傾向・動向をリアル表示、状況把握が一目瞭然。

評価連動マトリクス

特許5548517号

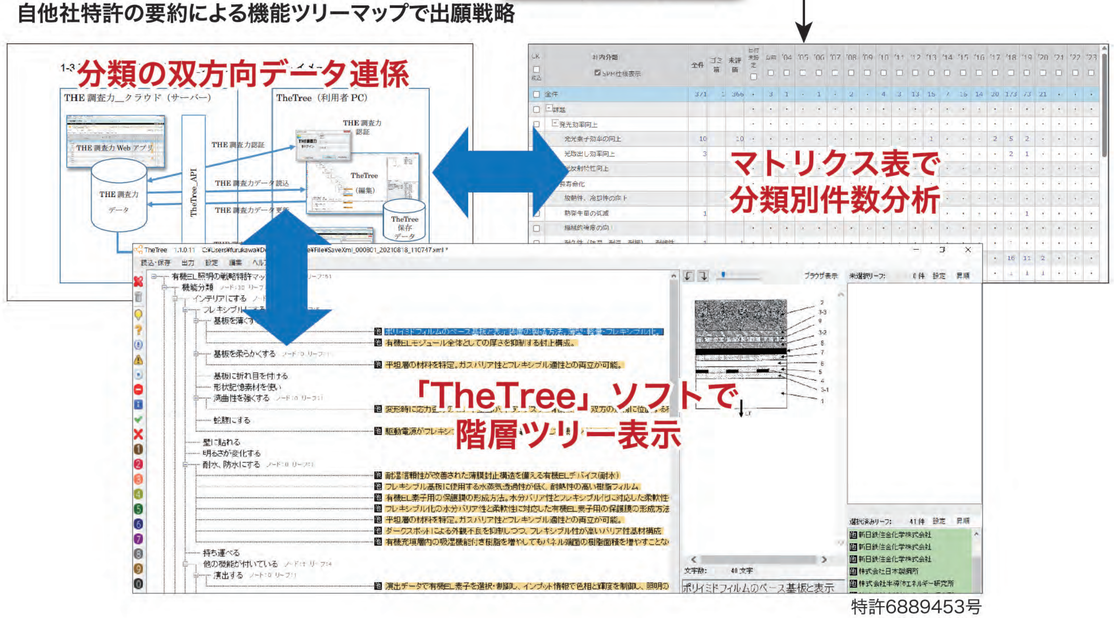
一目瞭然、閲覧スピードがあがる全図面スクロール抄録です。

全図面スクロール抄録

4 特許出願、ＩＰランドスケープの「戦略DB」としての活用

他社特許調査のローカルデータベースと共に自社出願戦略データベースとして活用が広がっています。
THE調査力ＡＩの拡張版「Ｒ＆Ｄ情報ステーションIIC」では、論文や市場のデータベースとしても利用が広がります。
THE調査力ＡＩは、「時短」と「創造」をコンセプトに研究・開発部門のイノベーションへの取り組みをサポートします。

研究・開発部門、知財部門の特許業務を標準のデータ仕様で整理・整頓する。これが業務改革のポイントの一つです。

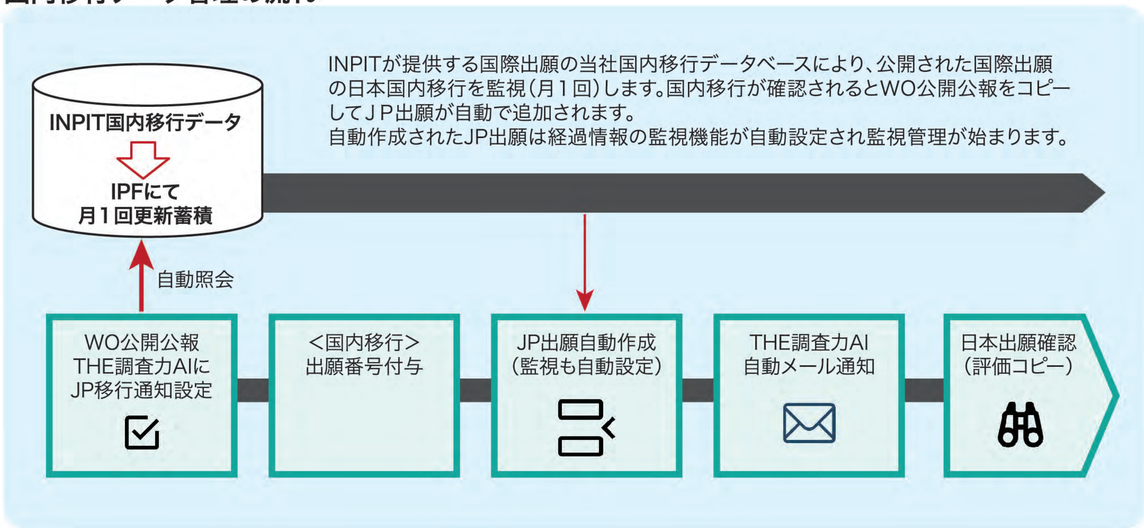


特許6889453号

5 監視機能に「WO日本移行監視」と「再公表JP自動作成」を搭載

2022年１月からの再公表公報廃止に伴い、日本に移行したＰＣＴ出願の調査と管理が面倒になっています。THE調査力ＡＩにWO公開に日本移行監視機能を追加しました。JP出願番号付与が確認されるとJP出願が自動で作成されＪＰ出願の経過監視が始まります。WO公報と日本移行出願全件の二重チェックも解消できます。

国内移行データ管理の流れ

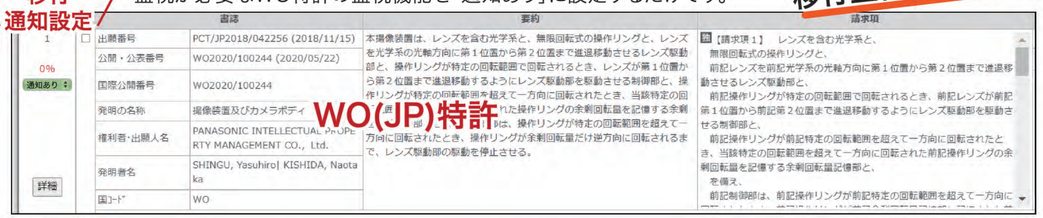


国内移行の例

移行通知設定

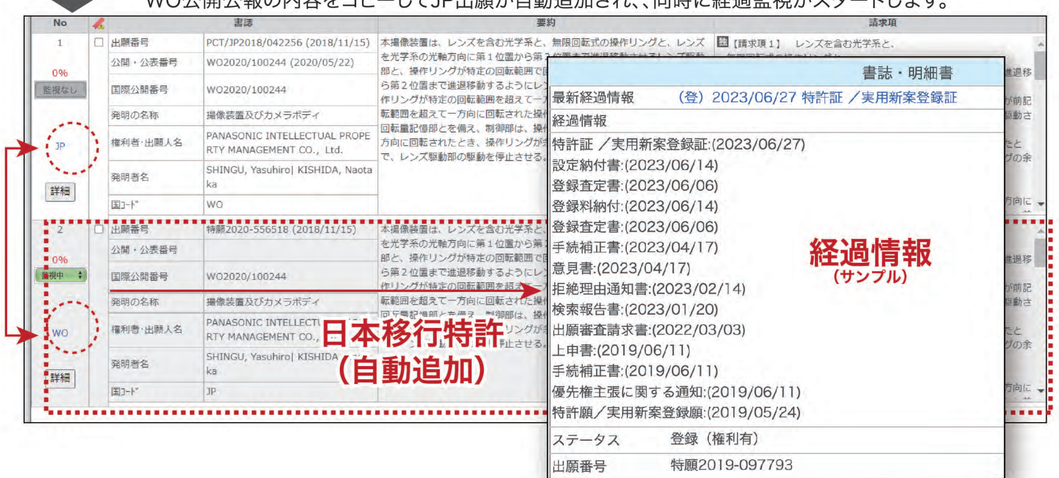
監視が必要なWO特許の監視機能を「通知あり」に設定するだけです。

移行監視WOだけ



WO公開公報の内容をコピーしてJP出願が自動追加され、、同時に経過監視がスタートします。

相互リンク



本経過情報は、一般的なサンプルです。

6 海外特許調査も日本語、Japio-GPG/FX和文データ連係

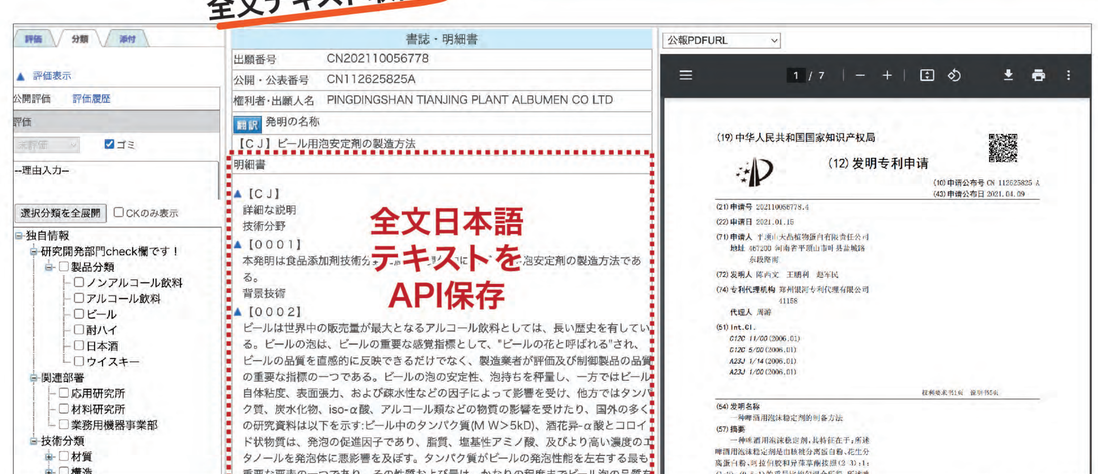
Japio-GPG/FXは、主要11か国の全文和文データと全世界の和文抄録を提供する、全世界和文検索サービスです。海外特許検索は現状のまま、Japio-GPG/FX和文データと共にTHE調査力ＡＩに保存します。英文のExcelによる海外特許調査から、グループウェア内で日本語で調査できる研究・開発者向けの環境が実現しています。

全文テキストが日本語で読める！Japioダイレクトリンク、テキスト取得。

主要11ヵ国（US,WO,EP,CN,KR,DE,FR,GB,TW,CA,JP）の全文和文詳細リンクがつきました。

待望の全文リンク！

全文テキスト取得も！

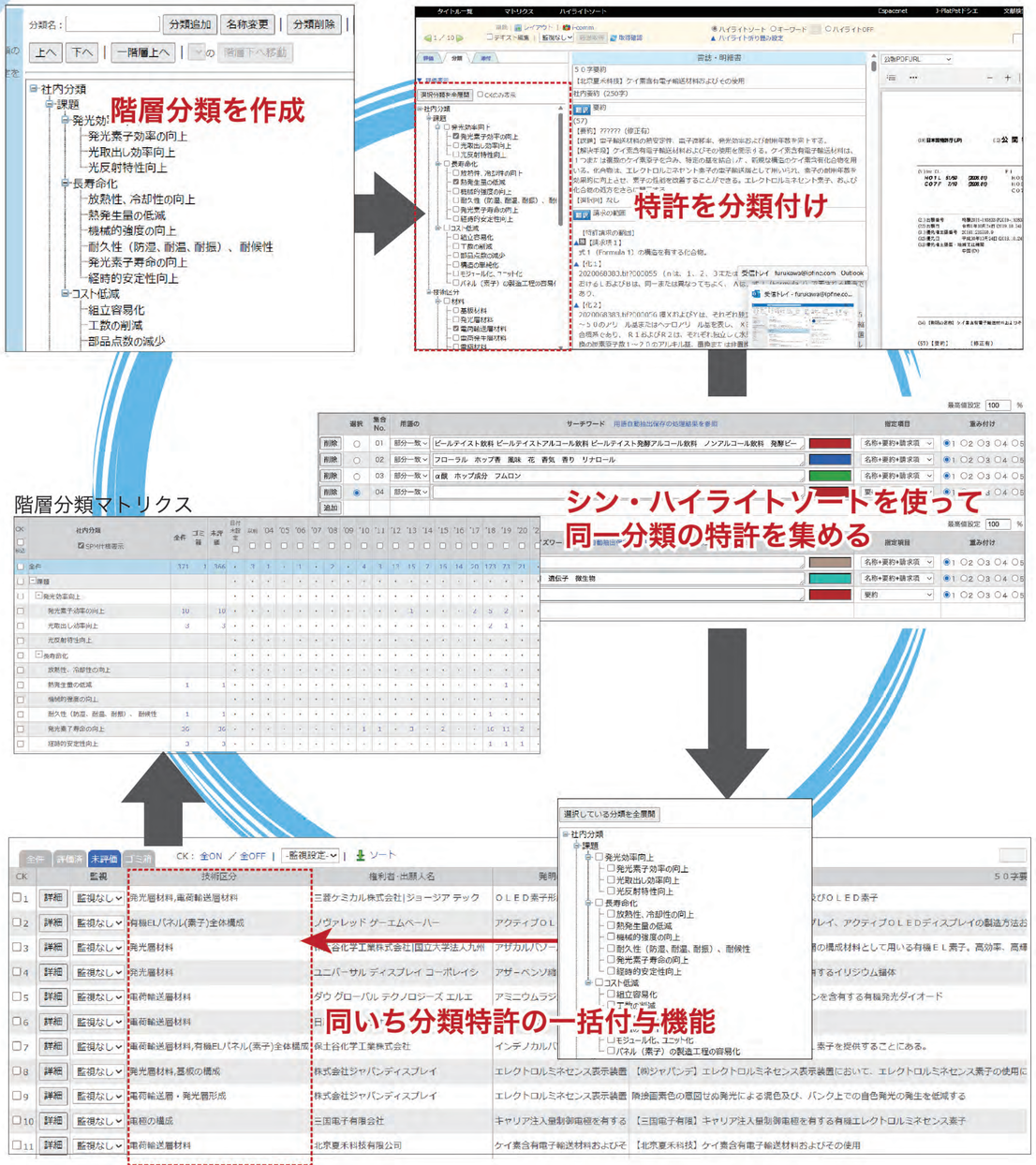


特許6604024号

7 階層分類とシン・ハイライトソートを併用した「一括分類付与」

課題分類や技術分類などの階層分類が自在に編集できます。特許の分類付けにはシン・ハイライトソートによるワード判定機能を併用すれば、同分類の特許を一括で付与できます。出願戦略の見える化ツールとして、THE調査力AIと双方向にデータ連係された要旨階層機能ツリー「The Tree」（オプション）も利用可能です。

19階層、２千項目内で階層分類を作成できる



階層分類マトリクス

2024年春リリース

私たちは、研究開発の情報革新に取り組んでいます。

研究・開発部門では、様々な情報を活用しています。
知財情報、論文・文献、市場データ、各種社内外情報・・・。
これらの情報は、目的に沿ってそれぞれ個別に管理・活用されています。私たちはファイル共有化による一元管理ではなく、同じシステム内でデータの管理・活用を一元化する R&D 情報データベースを開発しました。
それが、R&D 情報ステーションＩＩＣです。

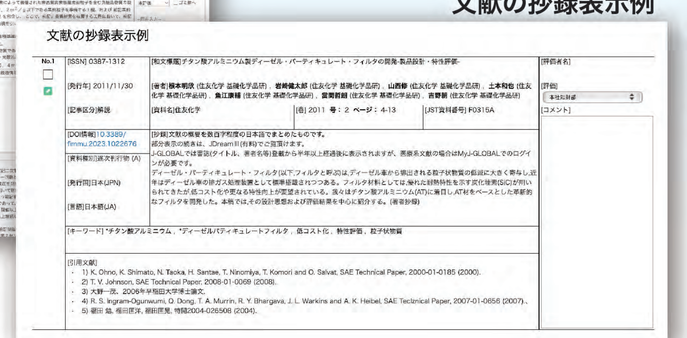
着想から実現へ —— for Innovation , Invention , Competition

R&D 情報ステーションIIC

標準仕様は、知財情報と論文・文献情報を用意していますが、使い方はデータ内容に合わせて自由にご利用いただけるフリー設定機能も搭載しています。企業ニーズに合わせて使い勝手向上を図ってまいります。試して、使って、ご希望をお聞かせください。

特許の抄録表示例

文献の抄録表示例



THE 調査力 AI からの移行ができます